

# ◆ 広報やまと

1月26日発行

2011  
(H23)

2

如月  
REI GETSU

No.71

## 完全復活!!

11月27日、蘇陽地区西部交流館で行われた「白石お天道さん神楽まつり」。途絶えていた白石神楽全33座が今回完全復活しました。写真は「たたら舞」という演目です。  
(20ページに関連記事)

## C contents

## 主な内容

2～3P ..... 年頭のご挨拶  
4～5P ..... 成人式  
6～7P ..... 民生児童委員

12～13P ..... まちの話題  
14～19P ..... 人権作文  
21P ..... すくすく育て

# 年頭のご挨拶

## 行政

山都町長 甲斐 利幸

明けましておめでとうございます。旧年中は、皆様にご不便をおかけしております。新庁舎建設について、県の事業認定の告示があり、多くの方に用地を提供していただきました。今年度は、庁舎建設に取りかかります。九州中央自動車道の建設予算については、昨年度に比べ、公共事業の抑制という方針から大幅に削減されましたが、まずは、北中島インターチェンジ（仮称）までの早期供用に向けて、国と協議を進めています。

山都町の農林業においては、口蹄疫の侵入を封じ込めることができました。夏秋野菜においては、前年度に比べ大幅に生産額を増やしました。

昨年の年の瀬、近来にない降雪に見舞われ、元日の習慣として、小一領神社、幣立宮詣をあえなく断念せざるをえませんでした。家に籠もりながらも、あらためて無垢な新雪の銀世界に、気持ちやすがれました。凍てつく外気に、新春を迎え、今年の町政に対する士気の昂然たるものを覚えました。

今年度は、合併して7年目を迎えます。新しい町としての一体感を築くため、身近で、優しい町政に積極的に邁進し

ます。皆様にとって頼りになる町政を目指します。住民自治の高まりを期待する施策を展開し、誇らしい山都町づくりに果敢に取り組みます。

閉塞感に覆われている現代ですが、こういう時代こそ、町と町民の皆様が、現状を打開し、切り抜け、事に当たる、という強い意識の共有が必要であり、そのことにより、町政も適確に対応できます。

今年も、①道路整備や通信手段の整備等生活基盤の整備、②農林業、商工業の振興、③明るい福祉社会の建設、④観光振興と九州新幹線を考えた賑わいのあるまちの建設、⑤文化行政推進と人づくり、これらの施策を軸に山都町の元気を盛り上げます。

町民の皆様が町政に対しての積極的な参加と協働をお願いし、本年が皆様にとって素晴らしい、可能性が膨らむ年となりますようお祈りいたします。



# 議 会

## 山都町議会議長 藤川 憲治

明けましておめでとうございます。町民の皆様にはお健やかに新年を迎えることとお慶び申し上げます。

人は何か事を始めるときは、心に期するものを持ちます。だから、一生懸命であり、謙虚であります。すべてのことが新鮮で人の言動、社会の事柄、あらゆることが自己向上につながります。しかし、時日を経るに従って、その強い思いはともすると薄れ、それに従って熱意や謙虚さも失われていきます。

私自身も、議長就任一年目の昨年は、すべての面におきまして今までは違った立場で、町民の皆様のため、その役割と任務に、自分なりに努めて参りました。力不足の面もありましたが、皆様のご指導、ご協力に心より御礼と感謝を申し上げます。

平成23年も、選良された議員として、この町の議会を代表する議長として、初心に返って議員活動、議会活動に邁進して参ります。

夢と期待を抱いた21世紀もはや10年が過ぎましたが、現実には誠に厳しいものがあります。

長引く不況に政治の混迷、加えてさまざまな問題を抱える世界の国々との

関係が状況を複雑にしています。

時代の大きな流れ、厳しい環境の変化の中での、新年の幕開けであり、先行きに対し、安閑としていられない日々が続くと思います。

今、皆様のおかげがないこの故郷「山都町」は、少子高齢化や過疎化の流れに歯止めがかからない厳しい状況ですが、このことは、何もこの町だけの問題ではありません。

農林業の衰退、地域経済の低迷など、全国の地方が、特に中山間地域は、大変な危機にあります。故郷「山都町」の活性化や再生のため、皆様の知恵と汗が必要なのです。

合併以来、最大の課題であった新庁舎建設については、昨年11月、ようやく県の事業認定の告示がなされ、大きな節目を越えることができました。すでに取り付け道路の工事も始まり、皆様に対するご不便とご迷惑を一日でも早く解消するべく、早期完成を目指し、議会としても取り組んでいきます。

3月には、待望久しかった九州新幹線鹿児島ルートが全線開通します。その効果に熊本県も県下市町村も期待し、いろいろな施策を展開しています。観光資源に恵まれた山都町も、周辺自治

体と力を合わせ、目玉のルートの開発が急務です。

九州中央自動車道も予算が削減されるなか、早期開通を目指して、官民あげて要望、提言活動に力を入れております。

このように夢や希望もあります。不安や心配困難なことが多い幕開けではありますが、発想を変え、新年を機に気分一新を図りたいものです。

最後になりましたが、町民の皆様のご健康とご多幸を心からお祈りいたしまして、私の年頭のご挨拶とさせていただきます。



1月4日、矢部保健福祉センター「千寿苑」で、新成人の門出を祝う山都町成人式が開催されました。185名（男98・女87）の対象者が大人の仲間入りを果たしました。

式には晴れ着に身を包んだ173名が町内外から出席。はじめに、新成人代表の吉山龍弥さん（上寺）と藤川里奈さん（万坂）に成人証書が授与されました。新成人による誓いの言葉では、日隈大徳さん（猿渡）と下田円美さん（犬飼）が「一人ひとりが社会の一員であることを自覚し、選挙への積極的な参加や交通ルールの遵守を約束します。また、この自然豊かな『山都町』を誇りに思い、何事もあきらめず希望を持って未来に進むことを誓います」と宣誓しました。式典終了後は、成人式実行委員会3名による「お楽しみ会」が実施され、豪華賞品がある抽選会で会場は盛り上がりました。



成人証書を受け取る吉山龍弥さんと藤川里奈さん



誓いの言葉を述べる日隈大徳さんと下田円美さん

## ふるさとで二十歳の誓い ～平成23年山都町成人式～



実行委員を務めた西岡歩さん（左）、藤川里奈さん（中）、下田円美さん（右）



中島・名連川・白糸地区の新成人の皆さん



下矢部・御岳・清和地区の新成人の皆さん



浜町地区の新成人の皆さん



蘇陽地区の新成人の皆さん

# の皆さんを紹介します。

## 清和地区

### ■民生児童委員

(敬称略)

氏名	住所	担当地区
佐藤 敬明	大 平	大川 平野
福田 幸人	鶴ヶ田	仁田尾 牛ヶ瀬 原尻 原尾野 鶴ヶ田大矢
藤原 英治	鶴ヶ田	鶴底 川口 川口大矢
木野不二雄	郷野原	井無田 郷野原 郷野原大矢 長成
高本 勝幸	安 方	安方 仏原 高月
田中 憲昭	仮 屋	米生 市の原 仮屋
河田 順一	小 峰	須原 枋原 小峰 貫原
八高葉久代	尾野尻	猪尾 尾野尻 鎌野
尾前 善明	緑 川	小中竹 檜原 木原谷 梅の木鶴 川の口
高岡 澄夫	緑 川	栗林 滝下 湯鶴葉 舞岳 栗藤 沢津

## 蘇陽地区

### ■民生児童委員

(敬称略)

氏名	住所	担当地区
山本 勝盛	長 崎	長崎
秦 俊一	馬見原	馬見原 岩尾野 鏡山
大橋アツ子	滝 上	下番 下鶴 松葉 古園 一里木
安永 洋子	滝 上	大野校区
大久保松男	塩出迫	塩原 菅尾 塩出迫 大久保
今村 春夫	今	米迫 今 八木
興梠 亘	柏	柏 二瀬本
有働アキ子	花 上	花上
後藤 吹枝	橘	橘 下山
後藤美千代	東竹原	高辻 高畑 東竹原 柳 梶原
工藤 房子	長 谷	旅草 長谷 玉目
工藤 則雄	上差尾	上差尾 大見口 二津留

### ■主任児童委員

(敬称略)

氏名	住所	担当地区
山本 幹江	浜 町	全地区
山下 繼明	大 平	
山口 春美	八 木	



新任民生児童委員・主任児童委員のみなさん

# 民生児童委員・主任児童委員

新しい民生児童委員・主任児童委員が決定し、厚生労働大臣から委嘱されました。任期は平成22年12月1日～平成25年11月30日です。

民生児童委員は、厚生労働大臣から委嘱され、地域福祉の向上のために活動しています。高齢者や障がい者、子育て中の保護者などの身近な相談相手として、必要な援助が受けられるようにお手伝いします。

主任児童委員は、児童に関することを専門的に担当し、子どもたちを見守り、子育ての不安や妊娠中の心配事などの相談・支援を行います。

山都町では、61名の民生児童委員と3名の主任児童委員が、関係機関と連携しながら、町民の皆さんの立場に立って対応します。日々の暮らしの中で困ったことや心配事などがあるときは、お気軽にご相談ください。

【問い合わせ】健康福祉課 福祉係 72-1229

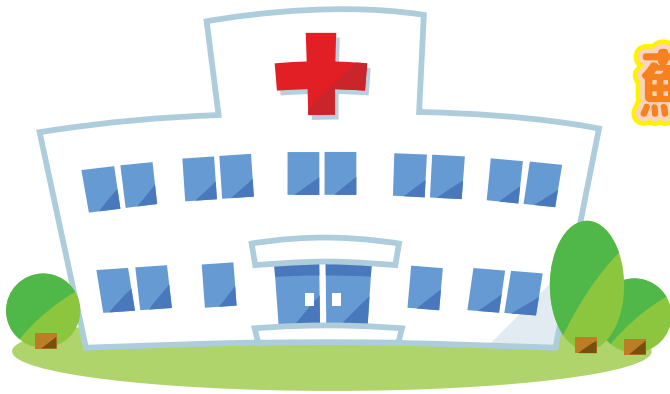
## 矢部地区

### ■民生児童委員

(敬称略)

氏名	住所	担当地区
山下 哲哉	上川井野	上川井野 川内 成君
本田 令子	川 野	横野 田所上 田所下 下川井野
佐藤佐代子	野 尻	男成 稲生原 野尻
村山 誠一	麻 山	小笹 麻山前谷 麻山後谷
田中 邦子	入 佐	入佐 入佐住宅
松永エイ子	入 佐	畑 畑前田
元田 禮子	長 原	米内蔵 田吉 小原 長野
藤原 秀治	犬 飼	犬飼 新藤 小ヶ蔵 白石 相藤寺
新野 幸枝	菅	上菅上 上菅下 笈石 菅囲
山崎 新教	目 丸	大多良 西尾 青石 目丸乙 目丸丙
山田 美光	津 留	甲間 津留 舞津留 鶴ヶ淵 内大臣区
山本 兼治	荒 谷	牧野 白小野 名ヶ 荒谷
藤川 京子	藤 木	万坂 藤木 勢井 (高須)
佐藤 保子	猿 渡	瀬峰 北川内
高山 明博	柚 木	囲 柚木 (片布田)
藤本 照子	三 ケ	三ヶ 葛原
渡邊 義弘	北中島	北中島1区
藤掛 章藏	北中島	北中島2区
和田 静子	金 内	金内
成瀬百合子	金 内	田小野 上鶴

氏名	住所	担当地区
荒木なるゑ	島 木	原 島木1区
古閑 昭治	島 木	島木2区 島木3区 島木4区
山本 繁芳	下名連石	下名連石上 西大矢
井手 直司	下名連石	下名連石下
藤本 英昭	御 所	一ノ瀬 稲生野
藤山 英世	御 所	御所 西谷 岩立 後迫 杉の鶴
因幡 昭一	黒 川	黒川
本田 一子	城 平	下大川 中尾 片平 布田
青木 貞光	城 平	桐原 大川町
山崎 博喜	上 寺	梅木 大野 杉木 寺川
橋本 珠子	上 寺	上司尾
後藤 重幸	市 原	市原 山田 芦屋田 長田 山中園田
田上 興隆	南 田	南田 (南田住宅)
水野 禮子	千 滝	千滝
松村 春子	浜 町	仲町上 仲町下
角田かつ子	浜 町	旧会所
豊田 正代	下 市	水道町 下市1区 下市2区
鬼塚 弘子	下馬尾	浦川 下馬尾
橋本 教嗣	浜 町	新町 水道町



# 蘇陽病院だより

## ～蘇陽病院基本理念～

「へき地医療拠点病院として、  
患者様に信頼される良質な医療を提供し、  
地域住民に親しまれる病院を目指します」



## 新年のご挨拶

山都町立蘇陽病院院長 水本 誠一

山都町住民の皆様、明けましておめでとうございます。山都町立蘇陽病院の院長を仰せつかつております、水本誠一でございます。

今年はずぶつくりするような大雪の中での新年となりましたが、昔から新年の雨や雪は豊作の予兆とされており、今年一年に希望をつなぎたいものです。

さて、私が山都町に居を移し、院長として赴任しましてから3回目の冬になります。この間、皆様のご期待に添える病院となるようにさまざまな取り組みを行なってまいりました。昨年を少しばかり振り返り、さらに今年の抱負について申し上げたいと思います。

まず、昨年度はレントゲンのPACSシステム、物流管理のSPDシステムを導入することによってスタッフの業務合理化をはかり、約3000万円の黒字を達成することが出来ました。さらに今年度（昨年4月から）は入院患者さんの数に対する看護職やリハビリ技師の人数を充実させて患者サービスの向上に取り組み、その結果、今年度（今年の3月で決算）も昨年度並みの黒字が達成できそうです。

それらのことを踏まえて、念願でありました新病院の建設計画を昨年9月から進めさせていたいただいており、本年3月末には設計が完成いたしました。その後議会（町民皆様）のご承認を頂いて、本年夏には着工の運びになると考えております。現段階での基本構想を基にした、完成予想図（コンピュータグラフィックス）を掲載いたします。旧中学校のグラウンドや体育館に隣接した立地計画で、患者さんだけでなく、老若男女みんなが健康づくりに集えるような「病院らしくない病院」を目指しています。

山都町唯一の救急病院としての役割、へき地医療の維持の役割、また訪問看護や訪問診療、訪問リハビリなどを駆使した地域での完結医療の役割、この三つの役割を意識しつつ、医師・看護師はもとよりリハビリ・放射線・臨床検査などのスタッフともども、今年も使命感を持ってがんばってまいります。

全国的な医師不足の中、現在当院に4人の常勤医が勤務していることはまったく「奇跡的」なことであり、山都町の皆さんにとっては「宝もの」といっても過言ではありません。





### 新病院建設計画の概要

建設地	旧馬見原分校グラウンド (山都町滝上476-2)	事業費	約15億円 (内訳) 本体工事費：10億8千8百万円 医療機器：1億7千6百万円 医師住宅：1億円 その他：1億3千6百万円
構造	鉄筋コンクリート造 3階建		
床面積	4,356㎡		
病床数	57床		
建設年度	平成23年度～平成24年度		
備考	人工透析新設、歯科（柏歯科診療所）統合予定		



これから事業がスムーズに進むかどうかは住民の皆様のご支援にかかっています。どうぞよろしくおねがい申し上げます。

私は今年も、「病院づくりは地域づくり。」の理念を持って頑張つてゆきます。あらゆる機会を捉えて、皆様のお気持ちやご意向を病院運営に活かせるよう努力する所存でございますのでご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

第9集 (鉄欠乏性) 貧血食②

山都町立蘇陽病院栄養科調理師 佐藤千鶴子  
監修 院長 水本 誠一

前回、鉄分が多く含まれている食材についてご説明しましたが、覚えていますか？

今回は、“鉄鍋”を活用することで、鉄分が摂取できることを付け加えさせていただきます。料理する際に、鉄の成分が溶け出してくるというわけです。もし、ご家庭に鉄鍋があるならば、その鉄鍋を使って料理を作ってみてください。

また貧血の予防治療には、食べ物だけでなく、適度な運動、十分な睡眠をとることも大切です。血液の素になるヘモグロビンを増やすには運動をする事が良いと言われています。しかし、過度の運動は逆効果ですし、不規則な生活から睡眠不足におちいり鉄分も不足傾向になりかねません。

不規則な生活から朝食抜きなどせず、日常の生活リズムを整えることにも注意を払いましょう。

次の写真は、ご家庭でも簡単に作れる貧血予防食です。参考にしてください。



にらレバー炒め

(鉄量7.9mg)

にら10g・豚レバー60g



ひじき煮

(鉄量5.5mg)

乾燥ひじき10g・にんじん10g



ほうれん草のお浸し

(鉄量2.8mg)

ほうれん草100g・あげ20g



高野豆腐の煮物

(鉄量1.9mg)

高野豆腐20g・あつあげ20g・人参20g

## 山都町観光案内所 ギャラリー喫茶ルポン 2月ギャラリーのご案内

「第10回さんサンなかまの作品展」  
2月3日(木)～2月25日(金)

町内の特別支援学級で学ぶ子どもたちの  
絵・版画・工作などの作品を展示しま  
す。個性あふれる作品の数々をぜひご覧  
ください。

## くまもと電子申請窓口 「よろず申請本舗」 「電子申請受付システムの一時休止」について

住民の皆様がインターネットを利用して申請や届出等を行うこと  
ができる、くまもと電子申請窓口「よろず申請本舗」は、新システ  
ムに移行(リニューアル)することになりました。

これに伴い、現在のシステムにおける電子申請受付は、平成23年  
2月28日(月)23時59分で終了します。申請状況の照会は、平成23  
年3月31日(木)17時までには可能です。

平成23年4月25日(月)の新システム公開まで、電子申請受付を  
一時休止することとなります。ご不便をおかけしますが、ご理解と  
ご協力をお願いします。

なお、紙による申請は、電子申請の受付休止期間中においても可  
能です。

※詳細は「よろず申請本舗」をご覧  
ください。

よろず申請本舗

検索

### 〈リニューアルに向けたスケジュール〉

- ・ 2月28日(月) 現在のシステムにおける申請受付終了
- ・ 3月1日(火)～3月31日(木) 申請状況の照会のみ可能
- ・ 4月1日(金)～4月24日(日) 【電子申請受付システムの一時休止】
- ・ 4月25日(月) 新システム公開(申請受付再開)

<http://www.shinseihonpo.kumamoto-idc.pref.kumamoto.jp/>

問い合わせ先 総務課文書情報係 TEL 0967-72-1111 (代表)

## 二十歳になったら『国民年金』

20歳を迎えると、さまざまな権利とともに義務も生まれます。国民年金に加入する  
こともそのひとつです。

皆様方の中には、「年金なんて先のことだから関係ない。」なんて思っている人はい  
ませんか？

国民年金は、日本に住んでいる20歳から60歳までのすべての人が加入して、やがて  
誰にも訪れる老後の所得保障だけでなく、障がいや死亡といった不慮の事故などによ  
り私たちの生活の安定が損なわれる事のないよう、みんなでもって保険料を出し合  
いお互いを支え合う制度です。

また、少子高齢化が進行し現役世代の負担が年々増加していますが、基礎年金の半  
分は国庫負担で賄われているため、現在20歳の方も納付した保険料以上の年金が受け  
取れます。さらに賃金や物価の変動に合わせて年金額が改定されますので、大変有利  
です。ただし、加入の手続きや保険料の納め忘れがあると年金が受け取れないことも  
ありますので、「あのときに…」と後悔する前に必ず国民年金の加入手続きを取りま  
しょう！

なお、学生の方や収入が少なく保険料の納付が困難な方の場合には、「学生納付特例」  
や「若年者納付猶予」など保険料の支払いを猶予する制度がありますので、山都町役  
場健康福祉課で国民年金の加入手続きと併せて申請してください。

平成22年度において学生納付特例制度により、  
保険料納付を猶予されている方で、平成23年度  
も引き続き在学予定の方へ、3月下旬に基礎年  
金番号等の印字されたハガキ形式の学生納付特  
例申請書が送付されます。同一の学校に在学す  
る場合は、このハガキに必要な最小限の記載事項  
を記入するだけで申請ができます。この場合は、  
在学証明書又は学生証は不要です。なお、はじ  
めて学生納付特例の申請をする方は、従来どお  
り「在学証明書」が必要です。

また、平成23年度は学生納付特例制度を利用  
せず、保険料の納付を希望される場合は納付書  
を送付いたしますので、お手数ですがお近くの  
年金事務所にご連絡ください。



(健康福祉課 72-11173)

# まちの話題

## 上差尾で健康教室

12月7日、上差尾地区交流館で地域住民を対象にした「健康教室」が開催されました。参加者は30名。はじめに、当地区の健診受診率の低さを心配し、地域の青年グループ「若光会」のメンバーが考えた劇「自分の健康は誰のため？」が披露され、



若光会による劇

毎年の住民健診の重要性を訴えました。その後、健康福祉課山下タツヨ保健師の健康講話もあり、3月開催予定の追加健診で、未受診者は必ず受診するように、地域を挙げて気運を盛り上げることが大切であると話しました。

## 緑仙館でもちつき

12月11日、グループホーム緑仙館で毎年恒例「緑仙館餅つき忘年会」が行われました。これは、緑仙館利用者とその家族はもちろん、地域の方も一緒となって行われているもので、利用者の中には杵で力いっぱいお餅をつく方、エプロン姿でお餅を次々と丸めていく方などたくさん笑顔であふれていました。



午後からは、清和地区でボランティア活動をしている「さつき会」による出し物も披露され、歌やおどり、つきたてのお餅も楽しみながら、参加者には思い出深い一日となりました。

## 木のおもちゃ贈呈

上益城地域木材需要拡大推進協議会（外本英治会長）が、クリスマスプレゼントとして、郡内の保育園・幼稚園に木製のおもちゃを送りました。これは、木に親しむ機会を増やしてもら

おうと平成18年から行われているものです。今回は、島木へき地保育所、御所へき地保育所、子育て支援センターに積み木やパズルなどのおもちゃセットが送られました。贈呈後、園児たちは大喜びで遊び、木のやさしい手触りを感じていました。



島木へき地保育所



御所へき地保育所



子育て支援センター

## 愛の募金

12月22日、山都町老人クラブ連合会蘇陽支部（下田澄雄支部長）から、今年も社会福祉協議会（甲斐利幸会長）へ「愛の募金」が贈呈されました。同支部が15年以上にわたり、竹筒や牛乳パックなどを加工した募金箱を各世帯に配布し、募金を呼びかけているもの。今年は274,376円が集まりました。



甲斐会長へ募金を贈呈する下田支部長（右）

## 山崎新一さんがしめ縄を寄贈



山崎さん（右）と寄贈されたしめ縄

目丸の山崎新一さんから、今年もしめ縄を寄贈していただきました。横一文字の力強いものや、いくつもの弧を描いた複雑なものなどさまざまなかデザインがあり、一つを作り上げるのに1日以上かかるものもあるそうです。近年、山崎さんは町内外からしめ縄づくりの指導をお願いされることも多くなったため、しめ縄の歴史などを事前に勉強してから、指導にあたるようになったと話してくれました。

## 馬見原小そば収穫

11月30日、馬見原小3年生11名が、馬見原東部老人クラブの協力のもと、そばの収穫を行いました。8月に自分たちで植え、老人クラブの方々の管理のもと立派に育ったそばの収穫です。乾燥したそばを廻棒めぐらぼうでたたいて実を落とします。それをふるりにかけたり、とうみにかけたりするなど、一連の作業を協力しながら行いました。収穫されたそばの実は、馬見原小で開催されるそばパーティーで使用される予定です。



## 寄付いただきました。

藪隆司さん（千滝）から福祉目的で使用して欲しいと、山都町へ寄付がありました。これを受けて町では、AED（自動体外式除細動器）6台、血圧測定器5台を導入し、中央公民館や清和総合支所などに設置しました。

昨年亡くなられた隆司さんの父要さん。その要さんが生前、各方面に寄付をされていたことを知った隆司さんは、家族と相談し、「山都町のためにやりたい」という父の遺志をつぎたい。役立ててほしい」と今回の寄付となりました。

## ふれあい畜産まつり

11月6日に熊本県畜産農業協同組合主催による「第8回ふれあい畜産まつり」が熊本県家畜市場（大津町）にて開催されました。共進会部門において3名の方が入賞されました。

肉用種牛部門

■肉用種牛3部 黒毛和種若齢の部

優秀賞 はるひら2号

吉見泰治さん（高月）

優秀賞 かつまる号

吉田敬信さん（米生）

■肉用種牛4部 黒毛和種壯齢の部

優秀賞 はるこ号

柿田公肆さん（田小野）



藪隆司さん（左）の前で血圧測定器を使用する甲斐町長

# わたしたちの人権

71

だれもが人間として生きていくうえで  
侵すことのできない当然の権利  
これが『人権』です

## 子どもの人権作文

12月の人権旬間に合わせて、子どもたちが書いた人権作文の中から、5名の作品をご紹介します。(18・19ページに続きます。)

### 「負けない心」

矢部中学校 3年 橋本 真佑



みなさんは、障がいがある人をどのような目でみていますか。私は生まれ付き右足が悪くて今年の1月に手術をしました。それからのこと、どこに出かけても見られてしまいました。時にはかげ口を言われたり、クスクス笑われたりしています。けれど私は負けたくないので見られても笑われても必死に我慢していました。しかしこの前、家族と買い物に

行った時に、1人の親子がいました。小さい子が「あの人、靴が変。」と言っていて私は黙っていました。するとその親が「みたらうつるけん見たらダメ。」と子どもに教えていました。とても辛くて泣いてしまいました。他にもこれ以上に辛いことも言われてきました。

みなさんはこういうことを聞いてどう思いますか。私はおかしいと思います。なぜ同じ人間なのに、外見などで判断したり、一部が違うだけで「あの人はずだ。」と区別されるのでしょうか。その人は安易な気持ちで言ったつもりかもしれないけど、言われた方の立場としてはとても辛く、その一言で死を選ぶ人も今じゃ少なくありません。私もその1人でした。私はいろんなことを言われて、誰にも相談でき

ず、親にも言えず、いつのまにか自分の気持ちを押し殺し始めました。しかし、友達が手をさしのべてくれました。その友達は唯一何でも言い合える関係でした。だから、私は思いきって相談しました。すると友達には「生きられる人が死にたいって言ったら、生きたくても生きられない人はどうなるか。」と言いました。死にたいと思った自分が恥ずかしくなりました。だからこそ生きていく大切さや命の尊さを実感していくのかと思います。

私はみなさんに障がいということを知りたくありません。誤解して欲しくありません。見たらうつるとか、触ったらうつるとか冷静に考えればそんな事はあり得ないことぐらい分かるはずですよ。だからといってかわいそうとか言う同情も必要ありません。私はこれから就

職など、さまざまな困難があるかもしれない。しかし、私は絶対に負けません。私は前を向いて胸を張って歩きたいです。あと半年ぐらいには右足の装具など何もかもが取れます。その時は、堂々と胸を張って笑顔で帰ってきたいです。



「父の心」

矢部高校（生活・園芸科）

2年 藤川 千鶴



リウマチという病気には、関節リウマチと筋肉リウマチの2種類あります。どちらも治るまでには、長く治療を続けなければなりません。私の父は関節リウマチという病気にかかっており、現在、治療中です。

父が20歳の時の話です。会社勤めをしていた頃、機械で腕をはさみ、手術を受け、懸命にリハビリを行っていたそうです。右腕のひじあたりには、熱や痛みを感じ取れないと聞きました。この腕のけがは、障がいの一つであり、障害者手帳を持っています。父の障害者等級は、3級です。私は障害者等級があるのを初めて知りました。

関節リウマチが発症したのは、49

歳の時と聞きました。運転中、ヒザに痛みを感じたのが始まりだったそうです。今でも、病気は治っておらず、毎日薬は欠かせないし、天候の変化で体調も変わるし、仕事も限られています。この数年間、いろんな出来事や想いがあったはずですが、父なりに乗り越えてきたから今の父がいると思います。

右腕の障がいは、あまり気にならないが、リウマチは自分の身体が、自分の思うとおりに動かせないのが辛いとききました。私は一緒に住んでいるからこそ分かることはあるけれど、父の気持ちは、聞いて初めて知りました。私は父にある質問をしました。それは夢についてです。病気がかかったことにより、今までとは別の世界にいるわけで、やり残したことはないのか、やりたいことはないのか、と疑問に思ったからです。父は、健康な人と同じことができれば最高だけど、今の自分よりもっと苦しんでいる人がいるのだから、人の痛みを分かる人間でありたいと想いがあるそうです。父の病気に對する気持ちは、大きいもので、簡単にこわれることのないものだと感じ

ました。自分が辛いとき、周りにはたくさんの方がいて、支え合うことだってできます。父の身体を心配する祖母、妹のおばさん、それに私たち兄弟も父を心配しています。父は、病気の身体でありながら、ご飯を作ってくれたり、送り迎えなどもしてくれず。私たちが一番考えなくてはならないのは、父の身体のことだと思っています。

これから先、父の病状や私たちの将来、何があるか分かりませんが私にはまだはつきりした夢はありません。だけど、父の話を聞いたことを無駄にしてはいけなと思います。思いやりの気持ちを大切に、たくさんの方との出会いを大切に、自分らしく生きていきたいです。

人権同和問題講演会

12月6日、浜町体育館で行われた人権同和問題講演会へ山都町人権の集い。約300人の出席のもと開かれた集いでは、このページで紹介する人権作文の発表が続いて、猿まわしの「反省ポーズ」で全国的な人気者になった村崎太郎さんが、「橋はかかるく被差別部落に生まれ育つてく」と題して講演しました。著書やテレビなどで被差別部落出身を告白した村崎さんは、これまでの体験を通して「みんな差別をなくしましょう」の呼びかけだけでは解決しない。自分が結婚するとき、相手が部落差別の問題を真剣に考えてくれたように、一人ひとりが自分の問題として向き合わなければいけない」と訴えかけました。



講演する村崎太郎さん

# 図書館 だより

こえのあか 40  
声の灯り

「矢部高生 図書館クリスマス会で大活躍！」



12月25日図書館本館にて「図書館クリスマス会」が開催されました。はじめに矢部高校日本拳法部のみなさんが、ハンドベルで「ジングルベル」を演奏してくれました。クリスマスの気分が高まった所で、みんなの手遊びを楽しみました。パネルシアターは「あわてんぼうのサンタクロース」。楽しいリズムに合わせて歌う子どもたちもいました。絵本の読み語りには「メリークリスマスおさるのジョージ」です。また、手品のコーナーではコップの水が一瞬にして氷に！ ふしぎな手品にみんな大喜び。そして、鈴の音が聞こえると…サンタクロースが登場！ 会場から大きな歓声があがりました。サンタさんからクリスマスや冬休みに親子で楽しんでくださいと、絵本のプレゼントが贈られました。そし



て、クリスマス会に遊びに来てくれたみなさんに矢部高校家庭科クラブのみなさんから可愛い手作りのクリスマスプレゼントが贈られました。雪がちらつくとともに楽しいクリスマス会となりました。

## 紙芝居「通潤橋物語」 水が渡る橋が町内の 学校へ配布されました

山都町の子どもたちのためにと製作された紙芝居が、町内すべての保育園・小学校・中学校へ配布されました。町内の子どもたちに馴染み深い「通潤橋」が、なぜ必要だったのか、誰の手によって作られたのか、その仕組みはどうなっているのか。この紙芝居を実際に読んで、今につながる歴史を学んで欲しいと思います。



中島小学校にて



# 図書館情報

—読書とは知らないことを知ること—

●本に関するお問い合わせ 本館 73-1616  
清和 82-3033  
蘇陽 73-2755

## 『2月のおすすめ図書』

### 農業書コーナー紹介

今号では図書館で利用も多く、関心の高い農業書を集めます。山都町は農業の町という事もあり、図書館には約7000冊の農業に関する本が所蔵されています。まだみなさんの知らない可能性が図書館の本にかくれているかもしれません。ぜひ、農業書コーナーをご活用ください。



### 『ヒメ、農民になる—農業をしたい女性に贈る初めての就農ガイド』

農山漁村文化協会 分類611

新規参入女性で法人就職、独立就農、跡取り娘、結婚によって農業に就いた女性…「ヒメ」たちの力強く熱い農業生活を紹介しています。私たちの「食」を支えてくれている女性はこんなにも頼もしい！ 就農はしていないけれど、「食」に関心のある方にも是非読んで頂きたい一冊です。

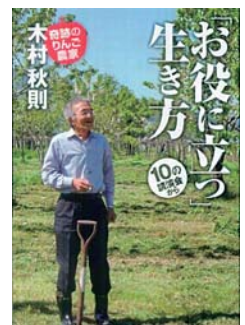


### 「お役に立つ生き方」

木村 秋則 (きむら あきのり)

東方出版 分類611

完全無農薬でリンゴの栽培に成功した木村さん。「奇跡のリンゴ」で紹介された、大地に真摯に向き合い、自然とともに生きようとするその姿勢は多くの方の反響を呼びました。リンゴについて、家族について、人間の生き方について木村さんの生の声をつづった講演録です。



### 「野菜の裏側—本当に安全でおいしい野菜の選び方」

河名 秀郎 (かわな ひでお) 東洋経済新聞社 分類615



私たちが毎日食べる野菜。その野菜は安全で美味しいといえるでしょうか。「有機農法」と「自然農法」の違いとはなんでしょう。家族のために、自分のためにと選んでいる野菜の裏側はいったいどうなっているのでしょうか。生産者にも消費者にも知って欲しい野菜の実態が書かれた本です。

### 「究極の田んぼ—耕さず肥料も農薬も使わない農業」

石澤 信夫 (いしざわ のぶお) 日本経済出版新聞社 分類616

田んぼを耕さず、冬にも水を張ることで、多収穫の稲を栽培することに成功した石澤さん。変わり者といわれながら、長年の試行錯誤と努力によって、肥料も農薬も使わない農業に成功しました。田んぼが変わり、人が変わり、農村が豊かになっていく。それは環境を大きく変える原動力となりました。



蘇陽小学校で子どもたちが絵本に親しむ機会をと、絵本「きつねのホイテイ」の読み語りがありました。スリランカのお話で、きつねと三人の女性が知恵比べをするとても楽しいお話です。きつねのホイテイと、三人の女性のセリフを松永教頭先生・江藤先生・工藤先生・高本先生が読みました。愉快なお話と、先生方の演技でみんな楽しくお話を聞きました。子どもたちがより絵本に興味を持ち、お話が好きになる読書活動ではないかと思いました。



蘇陽小で  
絵本の読み語り

「赤き黄土く来民開拓団く」  
に学んで

御岳小学校 6年 成瀬 友哉



ぼくたちは、総合学習で、来民開拓団の学習をしました。日本の国土はせまく、人口は多い。そのうえ資源にもとぼしい日本は不況のどん底から抜け出すために、中国侵略の道を選びました。戦争を起こし、「満州国」をつくった日本は、その支配を強めるために、日本国内の貧しい農民達や部落の人々を、開拓団として、強制的に中国に連れて行きました。その中で熊本県からただ一つ特別に選ばれたのが「来民開拓団」でした。

開拓団の話がされたとき、すみ子さんのお父さんとお母さんは悩みました。三日三晩話し合いをしました。すみ子さんのお父さんとお母さんも朝から晩まで必死で働いているのに、

暮らしはきついばかりでした。「子どもたちには、もつと楽なくらしをさせてやりたい。」と思つて、すみ子さんの家族も中国へ行くことを決めました。

来民開拓団の人たちが入植した土地は、中国の人たちが耕し、住んでいた土地でした。日本が、その土地や家を、安い値段でむりやり買いました。そして、泣き叫ぶ中国人の人々を力づくで追い出し、その後開拓団の人たちを入れたのです。ぼくは、その土地は中国人の人たちのものと知つていながら、開拓団の人たちには何も教えずに、そこにつれていったのがおかしいと思いました。

「開拓団は全員となりの村に逃げなさい。」という知らせが来しました。しかし逃げる前に二つの村の人たちが中国人に襲われてしまいました。1945年8月15日の事でした。この日が終戦の日でした。この日が終戦の日であることを、開拓団の人たちは、誰も知りませんでした。僕はそれがおかしいと思いました。

開拓団の人たちは、「全力で戦おう。もしも負けそうになった時は、全員自分たちで死のう。」と、つらい決心をしました。そして、中国の人たちが襲つてきて、開拓団の人

ちは必死で戦いました。けれど、とうとう全員自決することになりました。すみ子さんのお母さんも、泣きながらすみ子さんに毒薬を飲ませ、刀を自分の胸に突き刺して死んでいきました。ぼくは、お母さんはすみ子さんを殺したくなかつただろうと思いましたが、こうして、すみ子さんたちだけでなく、275人全員が亡くなつていったのです。そして、すみ子さんのお父さんが、開拓団の最後を日本に伝える役目でした。すみ子さんのお父さんは、たった1人で生き残つて開拓団の事を伝えるのは、どんなにつらかつただろうと思いましたが、

中国の人たちの中には、開拓団の人たちの逃げる準備を手伝つてくれたり、中国人が襲つてくることをこつそり教えてくれる人がいました。もし、そのことが他の中国人に分かつたら、自分が殺されるかもしれないのに、命がけで教えてくれたのがすごいと思いました。けれど、日本は、開拓団の人に本当のことを何も教えませんでした。もし、戦争に負けたことや戦争が終わつたことが知らされていたら、死ななくてすんだかもしれないと思いました。

来民開拓団の人たちは、日本にい

るとき「その村は…」と言われ、ずっと差別を受けていたから、中国に行つたら差別されなくなると思つて中国に行つたのだと、ぼくは思いました。自分のふるさとかから遠くはなれなければならぬほど、差別がひどかつたのだと思ひました。けれど、中国に行つても、日本は開拓団の人たちの命を大事だとは思つていなくて、見捨てたのがおかしいと思ひました。来民の人たちが日本で差別されていなかつたら、中国に行くこともなかつたし、全員死ぬこともなかつたのだと思ひました。部落差別が、来民開拓団の人たちの命を奪つたのだと思ひました。

不況から抜け出すために、日本がとつたやり方は、中国の人の命も、開拓団の人の命も大切にされていないと思ひました。このことは、水俣病の問題や目丸山への枯葉剤散布のことと同じだと思ひました。ぼくは戦争は子ども達の命もすべて奪つてしまふから絶対に許せないと思ひました。平和を守つていくために本

当のことをしっかり勉強して何が正しいことが考えられる人になりたいと思ひました。

「森のなかまをべんきょうして」

大野小学校 2年 後藤 彩花



わたしは、森のなかまをべんきょうして、一番おかしいと思つたことは、ライオン裁判長が足あとを見ていないのに、うさぎのみみすけときめつけてばつをあたえたことです。ポンきちの言うとおりにしたのがおかしいです。足あととは、いつばいあつたのにポンきちがうさぎのみみすけにちがいないと言いました。ほかのどうぶつがそうこに行つて食べものをとつたかもしれないのにきめつけたからちゃんとしらべたほうがいいと思ひました。学校でも同じようなことがあります。上きゆう生からきめつけられていやな気もちになりました。わたしは、ちがうよと言つたけど、声が小さかつたからその人には、聞こえませんでした。つぎ言われた時は、大きな声で言いたいです。

くまきちと、しかおは、いどう

ぶつと思ひました。みみすけのためにさいばんをやりなおそう、と言つたのがいいと思ひました。みみすけが、さいしよはないていたけど、さいごは「まちがつたことにはまけないぞ。」と言つたことがすごいなと思ひました。わたしもみみすけみたいに、まちがつたことにはまけないです。わたしや友だちがもしきめつけられたら、やめてとか、きめつけんと、はつきり言つていきたいです。

「自分の心とのたたかい」

馬見原小学校 5年 田中 愛美



わたしは、人権学習で「ぼくのがんばりわたしがのがんばり」という、差別をなくすために解放子ども会の人たちが書いた、壁画を見に行きました。中村先生に壁画のことをくわしく教えてもらいました。

わたしが壁画の中で心に残つたが  
んばりは、リボン登校です。4年生

の女の子が弟や妹を連れてきて、人がなんとやつても負けない気持ちをリボンに表して、そのリボンを毎月23日につけて登校するというのがリボン登校でした。心ない人たちにいろんなことを言われてもかまわずリボン登校をしつづけるのは、えらいと思ひました。リボンに人がなんとやつても負けない気持ちを表していることが、しつかり伝わつてきました。

わたしは、今まで水をかけられたり、キックをされたり悪口を言われたことがたくさんあつたけど、「せんで。」

と言つのがこわくて、言い出せませんでした。なので、次からは、悪口を言われたりキックをされたりしたら、「せんで。」

と言いたいんです。それでも聞かなかつたら、先生や親の人にそうだんしたりして、ぼうりよくや悪口は、絶対にしたり言つたりしてはいけません。というのをわかつてほしいです。でも、言い返したこともあります。わたしが学童に入つていたころ、学校から学童にきたらしゆくだいをすぐしてました。ある日、わたしは、けしゴムを学童にわすれてしまいました。次の日、学童に来て、けしゴムをふでばこになおそうとしたら、年上の女の子が、横からいきなりけしゴムをとつて、

「これ、わたしのけしゴムばい。」と、言つてけしゴムをとりました。わたしは、年上なので注意するのがとてもこわかつたです。でも、勇気をふりしぼつてその子に注意しました。でも、その子は全然きいてくれませんでした。わたしは何回も何回も注意しました。そしたら、「うるさい、かえせばいいんですよ。」

と言つて返してくれました。わたしは、年上の子にどんなに無視されても、注意しつづけたのは、リボン登校で人がなんとやおうと負けない気持ちとにってるんじゃないかなと思ひます。

わたしは、友だちのがんばりも聞きました。その友だちは、お母さんが仕事をやめさせられたということをもつて発表してくれました。そして、差別をなくす集会、5・23集会に4回行つて来たそうです。わたしは一度でもいいので、行つてみたいです。

これからは、いやなことをされたりしたら、勇気をふりしぼつて、「せんで。」

と言いたいんです。無視されても、リボン登校をやつてきた人が何と言つても負けない気持ちでしたように、「自分にされたら、どんな気持ち？」と、言ひ続けたいです。

# 清和小6年が清和文楽を上演



緊張の初舞台を終えた清和小6年生のみなさん

清和小の6年生15名が、12月11日、県立美術館で行われたワークショップ「子ども文楽たいけん」で、清和文楽の「傾城阿波の鳴門」を披露しました。

これは、10月から12月にかけて県立美術館で開催された「清和文楽人形と今西コレクションの衣装人形」展に併せて行われたものです。

清和小では、6年生の総合学習の時間に、清和文楽館職員の指導を仰ぎ、清和文楽に取り組



んでいます。人前での披露は今回が初めてですが、人形遣い、三味線、語り手をそれぞれにこなし、6月からの練習の成果を見事発揮しました。

上演後感想を聞かれた生徒たちは、「人形の動きや語り、三味線を合わせる事がとても大変だった」とその難しさを語っていました。2月15日には熊本県庁での披露も予定されています。



## 白石神楽完全復活！ 白石お天道さん神楽まつり

平成18年12月、途絶えていた白石神楽33座のうち6座が復活披露された第1回白石お天道さん神楽まつり。その後、回を重ねるごとに座を復活させていきました。そして11月27日、第5回となった今回、新たに披露された4座（伊勢神楽・たたら舞・由布舞・舞開きの舞）をもって、

33座すべてが復活しました。白石神楽保存会（佐藤孝義会長）は現在14名。神楽を復活させるという熱い思いを胸に、週1回の練習を重ねてきました。当日、会場となった西部交流館には地域の方々が大勢詰めかけて、復活した舞いを堪能しました。



※保護者のご承諾をいただいた赤ちゃんを、  
撮影・掲載しています。

# あくあく育て

## 乳 幼 児 健 診

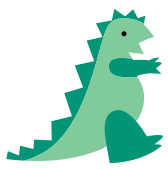
(平成22年12月24日=千寿苑)

(平成22年12月17日=蘇陽保健福祉センター)

4ヶ月  
健診

7ヶ月  
健診

1歳児  
健診



# 自然のなかで豊かに育つ子どもたち

その13

矢部郷自然観察会 代表 藤吉勇治

「グルグルルル…」夜の森の中に不気味に響く生きものの声。この地域では「モマ」と呼ばれている動物、ムササビだ。以前、山都町の森には数多く生息していたそうだが、近年その数を減らしている。矢部郷自然観察会では、数年おきに「森の忍者！ ムササビウォッチング」と題してムササビ観察会を実施している。

ムササビは高い樹木のある林や森の中に住み、体の皮膜を使って空中を滑空し、巣と餌場などの間を樹木伝いに移動しながら生活している。矢部郷自然観察会が毎回観察場所に行っているのは、山都町の御岳地区にある男成神社だ。観察会を行う11月頃は、ムササビの繁殖期が始まる時期であるためムササビを観察できる機会が多い。子どもたちは、見たこともない不思議な動物に会うために、胸をワクワクさせながら家族と一緒に参加してくる。

ムササビは日没後、しばらくすると巣穴から顔を出し、辺りの様子を窺いながら巣穴から出てきて木の上の方へ登っていく。そして、目標の木を見定めると空中に飛び出しバツと皮膜を広げて滑空するのだ。男成神社では、毎回ムササビの滑空を見ることができたのだが、昨年はなかなか姿が見えず、観察会終了間際にようやくムササビを一頭だけ観察できた。一瞬の出会いだったが、子どもたちはムササビとの出会いに感激し、その姿を鮮明に心に留めていた。



平成21年10月31日「ムササビ観察会」の様子

山都町の南側に連なる九州中央山地には、ムササビの仲間である希少野生動物のニホンモモンガ（大きさは手のひらに乗るくらい）が生息している。ニホンモモンガも空中を滑空する。ムササビやモモンガが生きている自然環境がこの山都町に残されていることは、未来への貴重な財産である。自然と触れ合い、自然の中で遊ぶ子どもたちの姿がなくならないことを祈りながら、今後も地域の豊かな自然の中で自然観察会を続けることを新年の決意とした。



## 『YOU&YOU通信』

Vol.44

### 結婚したご夫婦を紹介します

☆男性Uさん&女性Vさん☆

#### ①お互いの第一印象は？

U…かわいい感じの人がいる…

V…穏やかで誠実そう

#### ②現在の心境は？

U…家族を持った責任感と優しさをひしひし

しワクワクと感じています。

V…自分に合う人に出会えて幸せ。旅立つ

前のようなドキドキワクワク感。沢山の

新しい経験、ちよっぴり不安もある

けど協力し合って仲良く楽しみたいと思

っています。

#### ③まだ参加していない独身者（男性・女性）へひと言

U…参加すべきだ。こういった婚活は、今

日ではすぐに相手を見つけた手段とし

てメジャーなものになっています。

V…出会うことが大切。お互いの気持ち

に近い人と出会うと、スムーズに事が運

ぶんだなあと実感しています。気負わ

ずに足を運んでみてください。

### 12月☆クリスマス交流会紹介

クリスマスイブの前日23日（木）に、町内

にて交流会を行いました。男女9名ずつ合せ

て18名の参加をいただきました。最初から、

フレンドリーに皆さん楽しんでる様子で、

懇親会後には男性がリードして、町内の散策

を行いました。

次回の交流会に繋がることを期待しつつ、

これからの動きに注目していきます！

### 球磨地域から研修に来られました

11月24日（水）に後継者対策事業についての研

修地として山都町に球磨地域から市町村関係課職

員、球磨地域農業協同組合関係団体職員、球磨地

域振興局職員など27名が来町されました。研修事

項としては、結婚対策への取組みについて、「Y

OU&YOU」の活動内容や活動を行う上での重

要なポイント・問題点などをこれまでのYOU&

YOUの経験を踏まえ、学んだことをお話しいた

しました。その後、質疑の時間を設け、それぞれ

の町から多くの質問を受けました。YOU&YO

Uにおいても直面した問題ばかりで、一つ一つの

問題をクリアするまでにどのように行ってきた

か、実績を交え詳しく説明いたしました。どの町

においても、同じ目的達

成のために試行錯誤を重ね、尽力されている現場

の様子がかがえました。

今研修会において他町

村の取組みなどをわか

が、結婚対策事業につ

いて取り組むことの必要

性を実感し、YOU&YO

Uについてもこれからの

活動の糧となる研修会と

なりました。



#### お問い合わせ先

山都町役場 浜町事務所 総務課（成瀬・吉田）

【専用電話】090-95651-9589

【専用アドレスPC】

mariagesupport@town.kumamoto-yamato.jp

【専用アドレス携帯】

you\_and\_you@docomone.jp

## 季節のうた

### ▼馬見原酔山会

友逝きてバイク一台石落の花  
霜柱空にはうすき下弦かな  
父老いて高き処に残る柚子

渡辺勝子  
岩永博  
赤崎志朗

### ▼やまなみの会

籬壇の如く棚田の畦に咲く彼岸花の朱秋日に映ゆる

今村芳子

身回りにマイナス要因一つなく有難う様の生活の  
日々を  
広々と休耕してる畑にはあかぎの花が足踏み場なく

渡辺豊久

二つ三つトンネル抜けて紅葉狩  
猪鬃をかけし跡とや覗き見る  
太陽の色たくはへし柿届く

水野信子  
岩崎延枝  
佐野清江

### ▼通潤句会

去年の灰流すしきたり大旦  
み佛にあづけし余生初日記

広津真知子  
菊池幸子

### ▼清和短歌会

五十年を経たる薬罐を眺めては当時の生計を夫と語  
らふ  
温もりを抱き抱かれ床籠もり秋の夜永がは蓑虫もよ  
し  
明日へとゆっくり流れる季節の中カラタチの実は薄  
く色づく  
原田恵美

## 2月の当番医

- 2月6日 伴 病院 (電話72-0029)
- 2月13日 野田 医院 (電話72-0307)
- 2月20日 矢部広域病院 (電話72-1121)
- 2月27日 瀬戸 病院 (電話75-0111)

## 山都町の人口

(平成22年12月31日現在)

男 8,760人 (-10)

女 9,372人 (-9)

計 18,132人 (-19)

世帯 6,764戸 (-5)

※( )は前月比

※最高齢は105歳〔女性1人〕

※1月1日～12月31日の出生届数  
96人〔うち12月は7人〕

※1月1日～12月31日の死亡届数  
304人〔うち12月は24人〕

## 災害救援車が配備されました。



レプリカキーを受け取る岡本副会長(右)。後ろが配備された災害救援車。

日本赤十字社熊本県支部の平成22年度災害救援車の贈呈式が12月24日、山都町社会福祉協議会本部で行われ、災害救援車1台が山都町社会福祉協議会へ贈呈されました。

日本赤十字社熊本県支部では、昭和62年から災害救援車配備事業を実施し、県下の市町村に順次配備されてきました。配置された車両は、災害時の救護資材や救援物資の輸送、近隣市町村との相互支援などに活躍します。

贈呈式では、同支部石田総務課長から、町社会福祉協議会副会長へレプリカキーの贈呈がありました。

## 書道

紅葉満泛舟

和光教室書道部の片山久男さん(須原)作

## 編集後記

明けましておめでとうございます。新年早々、厳しい寒さと雪に見舞われた山都町でした。そんな折、あそこには、正月帰省されたお孫さんと一緒に作った、とても大きな雪だるまが写っていました。誌面の都合上、今回は掲載できませんでした。そのような、みなさんからの情報を今後ぜひ掲載していきたいと考えています。どんな情報でも構いません。企画振興課(72-11214)までご一報ください。

本年も「広報やまと」をよろしくお願ひします。

(F)



12月19日、上益城郡対抗駅伝が、嘉島町菅グラウンドく山都町中央公民館の8区間34・05キロであり、山都町Aが1時間53分23秒で優勝しました。

大会には、郡内5町から8チームが出場（山都町からは2チーム参加）。山都町Aは、序盤から上位でレースを展開。6区橋本和也選手が御船町からトップを奪うと、7区藤本和秀選手、8区藤河貴也選手が逃げ切り、山都町が2大会連続、3度目の優勝を飾りました。5区橋本登志郎選手、8区藤河貴也選手が区間賞の見事な走りを見せ、7区藤本和秀選手が最優秀選手賞を受賞しました。

\*山都町Aチーム（敬称略）

各区（距離）	選手名	タイム	区間順位
1区（2.25km）	中川 京香	8分01秒	③
2区（2.75km）	木村隆太郎	8分56秒	②
3区（2.95km）	一瀬 遥香	10分47秒	④
4区（4.00km）	吉川 昂佑	13分36秒	⑦
5区（4.60km）	橋本登志郎	14分23秒	①
6区（4.80km）	橋本 和也	16分52秒	②
7区（7.00km）	藤本 和秀	24分17秒	②
8区（5.70km）	藤河 貴也	16分31秒	①



山都町が3度目の優勝！  
～第35回上益城郡対抗駅伝～

（最優秀選手賞を受賞した7区藤本選手の走り）

▼総合成績

- ①山都A 1時間53分23秒
- ②御船 1時間53分59秒
- ③甲佐A 1時間54分12秒
- ④益城A ⑤嘉島 ⑥益城B ⑦甲佐B ⑧山都B



高森雄二さん



高橋伸也さん

農林水産大臣感謝状受賞者

「統計の日」（毎年10月18日）を記念して、農林水産省が実施する農林水産統計調査に永年わたって協力された方々に対して、農林水産大臣から感謝状が贈られました。

山都町では、高橋 伸也さん（御所）が15年、高森 雄二さん（入佐）が10年、農業経営統計調査に協力されたことにより受賞されています。

農業経営統計調査とは、農家の一年間の経営収支等を明らかにするための調査であり、その結果は、農林水産行政に広く活用されています。

平成22年度交通安全標語  
コンクール入選作品

シートベルト 後ろも前も きちんとね（菅尾小5年 穴見彩花）  
みんなでまもろう じぶんのいのち（御岳小1年 むらやましおり）

山都地区交通安全協会が募集した、交通安全の標語コンクールの入選作品を毎月2作品ずつご紹介していきます。（学校名・学年は当時）